

注 意 事 項

- 1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと.
- 2. 問題は3~7ページに記載されている. 試験中に問題冊子の印刷が不鮮明であったり, ページがぬけていたり, 解答用紙の汚れ等に気付いた場合は, 手を挙げて監督員に知らせること.
- 3. 解答はすべて所定の解答欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること. 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある.
- 4. 受験番号および氏名は、試験が開始してから、解答用紙の所定欄(2か所)に 次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確にていねいに記入すること、 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記 入しないこと。

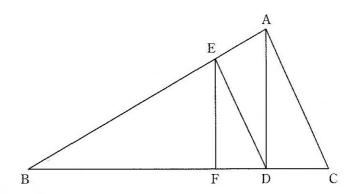
	数字見本		0		2	3	4	5	6	7	8	9
		万	千	百	1+							
711)	3825番⇒		3	8	2	5						

- 5. 解答欄に「計算」とある間については、計算の過程(式の変形や考え方)もわかりやすく簡潔に書くこと。
- 6. 答えに根号を含む場合は、根号の中の数はできるだけ小さな自然数にして答えること. 分数の場合は、それ以上約分できない形で答えること. また、分母に根号がない形で答えること.
- 7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
- 8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること.
- 9. 試験終了後, 問題冊子は持ち帰ること.

[1] 次の各問に答えよ.

問1. (x + y)xy - (y + z)yz を因数分解せよ.

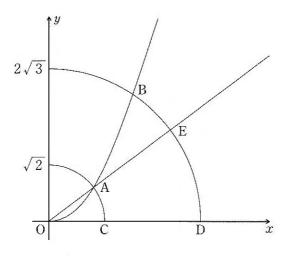
問2. 下図の三角形 ABC において、∠BAC = 90°、AB = 4、BC = 5、CA = 3 である. 点 E は辺 AB 上に、点 D、F は辺 BC 上にある.∠ADC = ∠DEA = ∠EFD = 90° であるとき、線分 EF の長さを求めよ.



問3. 座標平面上に、2点A(0, 4), B(2, 0) がある. 点C(a, b) を三角形ABC が正三角形になるようにとるとき、定数a, bの値をそれぞれ求めよ、ただし、a>0, b>0 とする.

【2】 下図のように、点 O を原点とする座標平面上に放物線 $y=x^2$ と、原点を中心とする 半径が $\sqrt{2}$ の円 C_1 と、原点を中心とする半径が $2\sqrt{3}$ の円 C_2 がある、放物線と円 C_1 と の交点を A、放物線と円 C_2 の交点を B、円 C_1 と x 軸との交点を C、円 C_2 と x 軸との交点を D、半直線 OA と円 C_2 との交点を E とする.

次の各間に答えよ、ただし、円周率はπを用いよ.

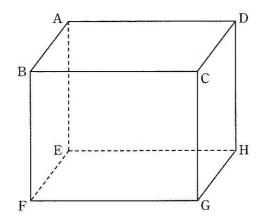


問1. 点Bの座標を求めよ.

問2. 扇形 OEB の面積 S を求めよ.

問3. 三角形 OBD に内接する円の中心を I とする. 点 I と円 C_1 上の点との距離 d の最小値を求めよ.

[3] 下図は、AB = 3、AD = 6、AE = 6 の直方体 ABCD-EFGH である. 辺 BF、辺 DH 上にそれぞれ点 I、J を 4 点 A、I、G、J が同じ平面上にあるようにとる. 次の各間に答えよ.



問1. 線分 BI の長さを a とするとき、線分 DJ の長さを a を用いて表せ、

間2. BI = 3 のとき、四角形 AIGJ の面積 S を求めよ、

問3. 辺 FG, 辺 GH の中点をそれぞれ K, Lとする. この直方体を 4 点 A, I, G, J を通る平面で切り、さらに底面 EFGH に垂直で 2 点 K, Lを通る平面で切って 4 つの立体に分ける. BI = 3 のとき、頂点 E を含む立体の体積 V を求めよ.

[4] 1つのさいころを3回投げ、出た目を順にa, b, c とする. 数X, Y を次のように定める.

$$b = 1 \text{ obs} X = a$$

$$c = 1 \text{ obs} Y = a$$

$$b = 2 \text{ obs} X = \frac{1}{a}$$

$$c = 2 \text{ obs} Y = \frac{1}{a}$$

$$c = 3 \text{ obs} Y = a + 1$$

$$c = 3 \text{ obs} Y = a + 1$$

$$c = 4 \text{ obs} Y = a + 1$$

$$c = 4 \text{ obs} Y = \frac{1}{a + 1}$$

$$c = 5 \text{ obs} Y = \frac{a + 1}{a}$$

$$c = 6 \text{ obs} Y = \frac{a + 1}{a}$$

$$c = 6 \text{ obs} Y = \frac{a}{a + 1}$$

次の各間に答えよ.

問1. Xが整数になる確率を求めよ.

問2. \sqrt{X} が有理数になる確率を求めよ.

問3. X = Y となる確率を求めよ.

〔以 下 余 白〕

米女	Ţ	_	学
62	答	用	紙

			<202	2 R04	160062
受験番号	万	千	首	+	
号 氏					
名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を 記入してはならない。記入した 解答用紙は採点の対象外となる 場合がある。

	₹2022	R 04160062>	
1			

受	万	千	百	+	
受験番号					
氏					
名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を 記入してはならない。記入した 解答用紙は採点の対象外となる 場合がある。

採点欄1

問 1 (答)	問 2 (答) EF=	1
問3 計算		
		A manufacture of the state of t
		1000
		namenonii 1970ii la

T	_

[2] 問1 (答)(

問 2

(答) *a* =

(答) S =

問3

b =

(答) d =

採点欄3

採点欄4

4		
	-	
	The same of the sa	
	}	
	1	

採点欄4

[3]

問1

(答) DJ =

問3 計算

問 2

(答) S =

(答) V =

採点欄5

採	点 欄 5
+	_

[4]

問1

(答)

問 2

(答)

問 3

(答)

採点欄6

採	点	欄 6	
+		-	
	1		
	one of the second		

令和 4 年度 **早大本庄高校解答**

1 (1)
$$y(x-z)(x+y+z)$$
 (2) $EF = \frac{192}{125}$ (3) $a = 1 + 2\sqrt{3}$ $b = 2 + \sqrt{3}$

(2)
$$EF = \frac{192}{125}$$

(3)
$$a = 1 + 2\sqrt{3}$$

$$b = 2 + \sqrt{3}$$

2 (1)
$$B(\sqrt{3}, 3)$$
 (2) $S = \frac{\pi}{2}$ (3) $d = 2 - \sqrt{2}$

(2)
$$S = \frac{\pi}{2}$$

(3)
$$d = 2 - \sqrt{2}$$

3 (1)
$$DJ=6-a$$
 (2) $S=27$ (3) $V=\frac{207}{4}$

$$(2) S = 27$$

(3)
$$V = \frac{207}{4}$$

$$\boxed{4} (1) \frac{7}{18} (2) \frac{1}{6} (3) \frac{7}{36}$$

(2)
$$\frac{1}{6}$$

$$(3) = \frac{1}{3}$$